

【令和7年度目標値】に対する進捗状況

計画 24 自転車の利用に関するパンフレットの作成・配布：実施済み



図 23 調布市自転車安全利用講習会 資料

公益財団法人 自転車駐車場整備センター

Google カスタム検索

お問い合わせ

整備センターについて | 事業案内 | 駐車場検索 | 駐車場のご利用方法 | 資料ダウンロード

つつじヶ丘駅南第1

ホーム > エリアから探す > 東京都の市町村から選択する > 東京都 調布市 該当自転車駐車場一覧 > つつじヶ丘駅南第1

つつじヶ丘駅南第1

定期 一時 IC 自転車 予約あり 24時間

最高駅	つつじヶ丘駅
所在地	東京都調布市東つつじヶ丘2-4-1
TEL	03-5384-3277
平日利用時間	24時間
休日利用時間	24時間
利用料金	6,200 - 20,000

利用状況 (月末現在)

※箇所によっては、管理上、空車情報が現状と異なる場合がございますので、予めご了承ください。

種別	階層	市内在住		市外在住		減額	免除						
		利用状況	待ち人数	1ヶ月	3ヶ月			6ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月		
自転車	1階室内	-	-	2,200	6,300	12,000	100	-	-	-	-	※	※
自転車	2階室内	-	-	2,000	5,700	10,800	100	-	-	-	-	※	※
自転車	3階室内	-	-	1,800	5,100	9,600	-	1,500	4,200	7,800	-	※	※

待ち人数：2020/03/25 現在

図 24 web サイトによる自転車等駐車施設の案内

出典：(公財) 自転車駐車場整備センターweb サイト

(5)シェアサイクルの活用等

計画 25 サイクルステーションの拡大 《短期計画》

計画 26 市民を対象とした利用促進等 《短期計画》

調布市では、シェアサイクル事業に取り組んでいる民間事業者と連携し、市民や来街者への利便性や回遊性の向上を図るため、電動アシスト付き自転車のシェアサイクル事業の実証実験（平成31年4月）を実施しています。

主に公共交通網である電車やバスのルートをつなぐ自転車をシェアして利用することによって、市民はもとより仕事や観光などで調布市を訪れる方の移動手段として、また災害発生時や公共交通不通時の代替となる交通手段としても有効な活用が期待できます。

今後は、公共施設、公園、飛行場、団地、商店街等さらなるステーションの増設を進めていきながら、駅前広場でのイベント活動を通じて市民の方を対象として広報活動を行い、官民連携して利用促進を図っていきます。



図 25 シェアサイクルのイメージ

【令和7年度目標値】に対する進捗状況

計画 25 サイクルステーションの拡大：導入に向け実証実験中

計画 26 市民を対象とした利用促進等：導入に向け実証実験中

【民間事業者と連携したシェアサイクルの展開】

駅周辺の自転車等駐車場をはじめ、民間商業施設などの市内全域のサイクルステーションを段階的に開設

- 実験期間：平成31年4月1日～（3年程度）
- 利用料金：15分70円，24時間最大1,000円
- 利用方法：会員登録（無料）し，アプリから予約
- 利用可能ステーション：42箇所（公共施設26箇所，民間施設16箇所）
- 近隣各市のステーション乗り入れ可能



図 26 市内のシェアサイクルステーション

Ⅲ 実態調査を踏まえた各駅における自転車等駐車場の施策の方向性

平成20年3月に策定した実施計画から10年余が経過する中で、京王線連立事業による南北交通の円滑化や民間事業者の自転車等駐車場の開設など、当初計画の時点修正を図る必要が生じました。

このため、平成31年1月に各駅における自転車等駐車場の利用実態調査を実施し、全市の実施計画を基に、市内各駅の現況及び将来動向を見据えつつ、各駅においてその計画の実現化に向け、今後、重点的に取り組む施策の方向性を明らかにするとともに、各施策を具体化しました。

その際、次の理由から仙川駅、つつじヶ丘駅、柴崎駅、調布駅、西調布駅と京王多摩川駅を「重点地域」としました。

【指定理由】

1. 借用地中心の駐車施設設置であり、将来的に不安定であること。
2. 鉄道駅までの交通手段として、自転車の利用割合・利用台数が多いこと。
3. 既存の駐車施設の利用率が高いこと。
4. 放置自転車等が発生していること。
5. 無料の駐車施設があること。

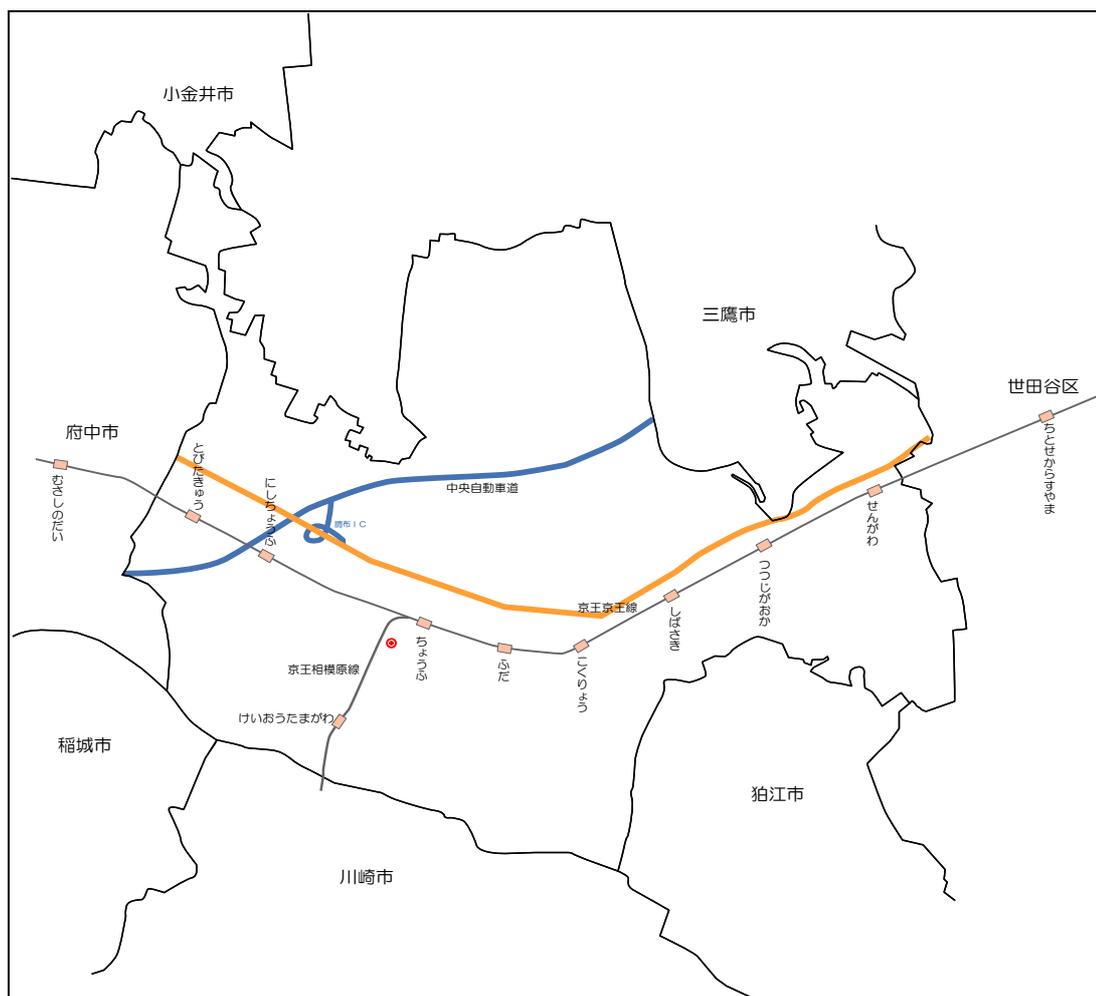


図 27 市内の鉄道駅

01

駅名：仙川

重点地域

《平成 20 年計画策定時》

	供給[台]	需要[台]		将来不足予想量 [台]
	H19. 8	H19. 8	H37 年度	
南口・北口	3,843	5,600	4,850	1,010

《改定計画》

◆仙川駅の乗降客数^{※1}増加見込みによる補正 (H31→R7)

H31. 1 駐輪需要	補正	令和 7 年度の駐輪需要
3,365 台	× 1.22	4,100 台

[供給台数] ^{※2}	平成 20 年 計画策定時	令和 2 年 7 月時点	令和 7 年度 (計画終了)
公共自転車等駐車場	3,843	4,764	4,750
民間自転車 等駐車場	一般	327	350
	建物附帯	—	885

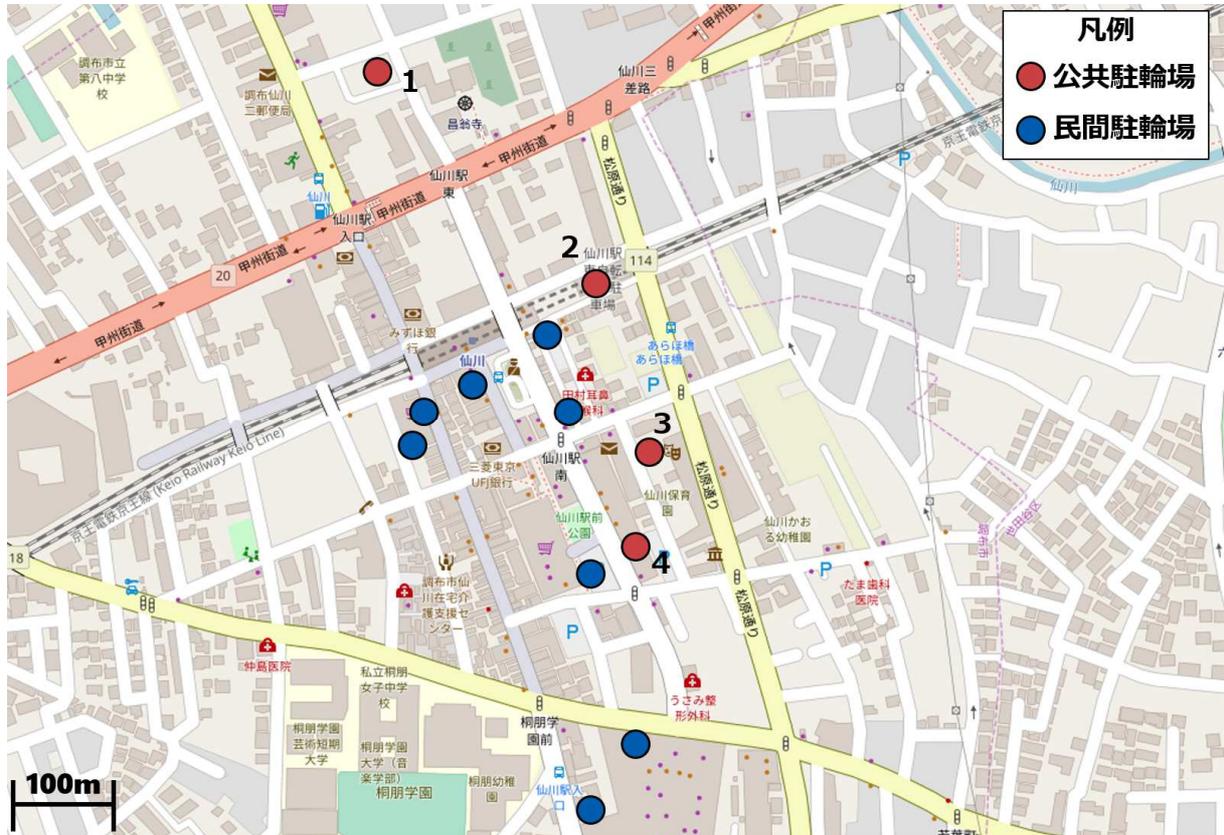
※1 駅周辺の開発や人口の増加に伴い、仙川駅は乗降者数が増加していることから補正を行った。(H25 から H27 までの伸び率と H26 から H27 までの伸び率を比較し、高い方の値を採用。乗降客数の出典：都市交通年報)

※2 改定計画では供給台数に民間の自転車等駐車場を含めている。これは、公共自転車等駐車場の有料化による民間事業者の参入の促進(施設整備に対する補助)を図っていることと、商業施設建設時に附置義務によって整備された自転車等駐車場は長期的にサービスを提供すると思われるためである。

令和 7 年度の仙川駅周辺における公共の自転車等駐車施設整備台数を現状の水準を維持し、4,750 台とする。

◆令和2年度以降の自転車等駐車施設の動き
現状の整備台数を維持。

◆仙川駅周辺の公共自転車等駐車施設

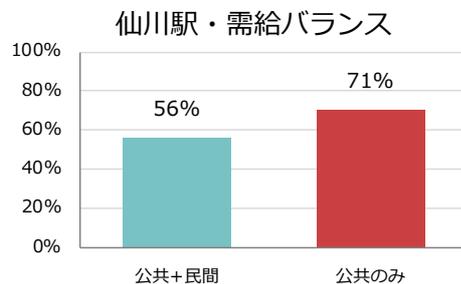


施設名	自転車収容台数	バイク収容台数	総収容台数	料金
1-調布市立仙川北自転車駐車場	206	0	206	有料
2-仙川駅東自転車等駐車場	2,990	82	3,072	有料
3-調布市立仙川南自転車駐車場	720	0	720	有料
4-調布市立仙川南第2自転車駐車場	766	0	766	有料
合計	4,682	82	4,764	-

◆仙川駅の需給バランス

仙川駅	駐車需要量 (台)(a)	収容台数 (台)(b)	ピーク時 稼働状況 (a)/(b)
総計	3,365	5,976	56.3%
公共自転車等駐車場	2,586	4,764	54.3%
民間			
一般	277	327	84.7%
建物附帯	442	885	49.9%
放置自転車	60	—	—

※需要量はH31年1月実施調査、
収容台数は令和2年7月現在



◆備考

- ・ 駅の南側に商店街が立地。スーパーマーケット等も立地している。
- ・ 放置自転車は減少傾向にあるものの、スーパーマーケット周辺には放置自転車が多くみられる。
- ・ 市境に近い駅であり、市外からの乗り入れも多いと考えられる。

■■ 施策取り組みの方向性 ■■

- 借地による公共自転車等駐車場については、長期的に自転車等駐車場として利用できるように土地の公有化を進める。(現在の供給台数を維持)
- 買い物利用による駐輪需要(ちょこっと駐輪)に対応するため、路上駐輪場について検討を進める。
- 大型自転車の増加への対応を行う。
- 施設の老朽化の対応などの検討を行う。
- 放置自転車の状況を注視しながら、実態に合わせた追加対策を検討する。
- 原動機付自転車・オートバイ(125cc以下)については、自転車の駐輪状況をみながら、運用の中で駐車スペースの調整を図っていく。

重点的に進める施策

計画1 長期賃貸借契約の締結

計画2 定期借地権の活用

計画3 既存施設の土地の公有化
施設の永続性確保

計画8 補助制度の拡大

計画9 補助対象施設の制限緩和

民間事業者に対する補助制度を見直し、条例及び条例施行規則で補助対象施設としている施設の制限を緩和

計画11 附置義務対象施設の拡大

附置義務の対象となる施設を拡大するため、自転車等駐車施設の設置基準を見直し条例等を改正

計画12 商店街による調布市自転車等駐車施設(有料)の借用協議

商店街周辺に設置された調布市立有料自転車等駐車施設の一部を商店街等に有償で貸与する等の施策を商店街等と協議

計画13 道路上等への有料自転車等駐車施設設置の検討

交通管理者協議を行い、道路上への駐車施設設置について検討

計画17 満空情報システムの導入検討

満空情報システムの導入を検討。自転車等駐車施設表示看板に放置禁止区域も掲載

計画19 撤去活動の曜日、時間帯及び実施エリアの拡大

放置自転車の状況を注視し、実態に合わせた追加対策を検討

計画21 施設利用に関する情報提供

パンフレットの配布、市報・webサイト上での施設利用案内等

計画24 自転車の利用に関するパンフレットの作成・配布

自転車等駐車場の利用に関する疑問等への対応や、駐車マナーの向上を図るため、パンフレットや看板、市報、ホームページなどを活用して広報

計画25 サイクルステーションの拡大(シェアサイクル)

放置自転車の削減及び駐車場所の有効活用を目的として、利用促進に努める

計画26 市民を対象とした利用促進等(シェアサイクル)

市内移動の利便性向上と、来街者の回遊性向上を図るために利用促進を図る

駅名：つつじヶ丘

重点地域

《平成 20 年計画策定時》

	供給[台]	需要[台]		将来不足予想量 [台]
	H19. 8	H19. 8	H37 年度	
北口	1,765	2,400	2,110	350
南口	2,750	2,500	2,090	(余剰) 660

《改定計画》

◆つつじヶ丘駅の乗降客数^{※1}増加見込みによる補正(H31→R7)

	H31. 1 駐輪需要	補正	令和 7 年度の駐輪需要
北口	1,588 台	× 1.10	1,750 台
南口	2,119 台	× 1.10	2,300 台

[供給台数] ^{※2}		平成 20 年 計画策定時	令和 2 年 7 月時点	令和 7 年度 (計画終了)	
北口	公共自転車等駐車場	1,765	1,455	1,750	
	民間自転車 等駐車場	一般	—	1,198	1,200
		建物附帯	500	—	—
南口	公共自転車等駐車場	2,750	3,335	2,500 ^{※3}	
	民間自転車 等駐車場	一般	—	657	660
		建物附帯	—	83	—

※1 駅周辺の開発や人口の増加に伴い、つつじヶ丘駅は乗降者数が増加していることから補正を行った。(H25 から H27 までの伸び率と H26 から H27 までの伸び率を比較し、高い方の値を採用。乗降客数の出典：都市交通年報)

※2 改定計画では供給台数に民間の自転車等駐車場を含めている。これは、公共自転車等駐車場の有料化による民間事業者の参入の促進(施設整備に対する補助)を図っていることと、商業施設建設時に附置義務によって整備された自転車等駐車場は長期的にサービスを提供すると思われるためである。

※3 調布市立つつじヶ丘南第 2 自転車等駐車場の廃止が予定されているため、現在の収容台数から 845 台分控除する。

令和 7 年度のつつじヶ丘駅周辺における公共の自転車等駐車施設整備台数を乗降客数により自転車等利用者が増加すると想定し、北口で 1,750 台、南口で 2,500 台とする。